

リークされたメモが、イラク戦争のブレアとブッシュの “血の密約” を明かす

【訳者注】終末（すなわち大転換期）には一切の隠し事ができなくなる、と言った宗教指導者がいる。「天網恢恢疎にして漏らさず」（天の悪人を捕える網は粗いようだが、決して漏らすことはない）という中国古典の言葉もある。米政府の Classified（極秘）の文書が次々と Unclassified（極秘解除）になっていくのも不思議で、これはその貴重な一つである。トニー・ブレアとブッシュ（息子）の間に何かよからぬ秘密があると考えられていたが、それを裏付ける動かぬ証拠が現れた。

「ブレアは、イギリスが外交取引の正直さで、長年かかって築き上げてきた国際的評判を、馬鹿にするように、ブッシュの悪たくみに対する世界の非難から、ブッシュをかばうための、盾として利用して満足していたのだ。」（p. 7）この文章から終わりまでが、この論文の結論になっている。

読者のコメントでトップにあがっている次の評言も、簡潔な、すぐれた要約である——
「ブレアは、人類に対して罪を犯した戦争犯罪人としても、英政府と英国国民に対する裏切り者としても暴露されている。」

この同じトニー・ブレアが、子供の人権団体「セイブ・ザ・チルドレン」から表彰されるという途方もないことが起こり、このときばかりは抗議が殺到して、謝罪が行われたことは、読者はすでにご存じであろう。

リークされたホワイトハウスのメモが、2002年の米大統領との会談で、前英首相が戦争を勧めていたことを明らかにした。

これら爆弾ドキュメントは、ブレアが、ブッシュのためにスピンドクター（物語操作役）をつとめ、ブッシュは「英は我々のリードに従う」確約を得たことを示している。

公的には、ブレアは、あくまで外交的解決を求めると言っていた——eメールの暴露事実とは裏腹に。

米法廷の命令でヒラリー・クリントンが公開した資料によって、新しい光がブッシュ-ブレア関係に当てられた。

By William Lowther (in Washington) and Glen Owen (for the Mail on Sunday)

October 17, 2015, Information Clearing House



爆弾ホワイトハウス・メモが、イラク戦争をめぐる、トニー・ブレアとジョージ・ブッシュの交わした“血の密約”の詳細を、初めて明らかにした。

このセンセーショナルなリークは、ブレアが、侵略の始まる1年前に、戦争を積極的に支持する無条件の約束をしていたことを示している。

これは、その当時、危機に対して外交的解決を求めていると言っていた首相の公言を、完全に裏切るものである。

彼は有権者たちに「我々は軍事行動を考えていない」と言っていたが、これは、秘密のeメールが現在明らかにしているものとは、完全に矛盾する。

文書の全体を読むには、スクロールダウンして下さい

この極秘文書はまた、ブレアが、大統領のために荣誉あるスピンドクターを務める合意をし、サダムが大量破壊兵器をもっているという作り話を、疑い深い公衆に納得させる「宣伝戦線」を張ったことを暴露している。

その見返りに、大統領はブレアのエゴを持ち上げ、英は米のプードルでなく、「特別の関係にある」対等のパートナーだという印象を与えようとした。

国務長官コリン・パウエルからジョージ・ブッシュ大統領に手渡された、この忌まわしいメモは、2002年3月28日、テキサス州クローフォード牧場での、ブッシュとブレアとの会談の1週間前に書かれた。

その中でパウエルは、ブッシュに、ブレアが軍事行動の件で「我々の所へ来る」と言っており、大統領に対し、「英が我々のリードに従う」のは確実だと言っている。

この暴露が、**Sir John Chilcot** のイラク戦争への尋問の再開につながるのは確実である——彼が、思われている通り、パウエル・メモを見ていないのなら。

同じ出所からのもう一つの爆弾メモは、また、いかにブッシュが、労働党内部で“スパイ”を使い、イギリスの世論を戦争支持へと導こうとしたかを、明らかにしている。

ザ・メールが日曜日に手に入れたこの文書は、民主党大統領選候補のヒラリー・クリントンの私的なサーバーに保管されていた、ひと包みの秘密の e メールの一部で、米法廷がこれを公開するよう強制したものである。

以前の保守党のシャドー内務大臣 **David Davis** はこう言った——

「このメモは明瞭な言葉で、我々の多くがずっと考えていたことを証明している。トニー・ブレアが、アメリカの外交政策の看板役として行動することを、下院や英内閣のどんな決定にも先立って、実質的に合意していたということだ。

「彼は喜んでジョージ・ブッシュのイラク政策を洗浄してやり、イギリスの外交政策を他国の下請け事業にした——現実にそれに影響を与える能力は全くないので。ではその見返りは何だったか？

「それは、ジョージ・ブッシュが、ブレアは世界を舞台に活躍する役者であるとイギリスの有権者に思わせること、アメリカ政府自身も驚いているということだった。」

デイヴィスは、ブッシュ - ブレア関係をよく知る、ある古参の外交官に支持されていて、その人の言葉では——「このメモは、ブレアが、まだクロフォード牧場へ足を踏み入れる前から、イラク戦争に積極的だったという事実を、疑いの余地なく、初めて明らかにするものです。」

「これは米政府が、ブレアのイギリスでの立場を持ち上げる計画をし、特別の関係にある対等のパートナーのように見せかけたことを示しています。

「ブレアのスポークスマンが、昨晚、パウエルのメモは“その当時彼が公的に言っていたことと一致する”と言っていました。」

前英首相はこれまでずっと、2003年3月20日に始まったこの戦争に乗り出すために、クローフォードで、二人が血の密約をしたと言われていることを、熱烈に否定していた。

パウエル文書は「秘密・・・大統領へのメモ」と題され、ブレアとブッシュが、クローフォードの密室で、ひそかに戦争を企んでいた事実のふたを開けた。

パウエルはブッシュに言っている——「彼はあなたのために、戦略的、戦術的な、宣伝前線を張るつもりだ。それは、我々の共通の大義のために、地球的支持を強化するものだと考えている。」そして付け加えて、ブレアという男は、「国際的平和に対する、現在のイラクの脅威について、もっともらしい宣伝をする」表現の能力をもっていると言っている。

この会談から5か月後、ダウニング街（英首相官邸）は、あの悪名高い、サダム・フセインの空想された大量破壊兵器に関する「運命まで45分」文書を発表した。サダムが倒された後、この文書の言っていたことはウソだったことがわかった。

このメモのどこにも、好ましい選択肢として外交的手段はあげられていない。

その代りに、パウエルは、国連安保理の“祝福”（承認）を求めるにはどうしたらよいか、また我々は“後日”のこと、つまりサダム以後のイラクについては、十分な対処を考えていると証明するにはどうすべきかは、ブレアが方法を教えてくれるだろうと言っている。

この戦争の批判者たちは、戦後計画がなかったために、侵略以来、10万人以上の人命が失われ、権力の空白によってイスラム国のテロリズムが生まれたと言う。

面白いことに、パウエルはブッシュに警告して、ブレアは「外交や安保政策において、あまりにもアメリカ寄りであり、あまりにも傲慢で“大統領的”なために、「国内騒乱」を引き起こしたと言い、「イギリスの立場から言えば、褒められたことではない」と指摘している。

パウエルはまた、ブレア内閣の亀裂が考えていたより深いと言い、…ブレアは「大きな問題では我々につく」だろうが、彼が支払わねばならない「政治的代価」を最小限にしようとしている、「彼の選挙民は、本当に英と米が特別の関係で、同等のパートナーなのか、調べようとするだろう」と言っている。

大統領は確かに、クローフォード会談で、ブレアのエゴを持ち上げるのに最大の努力をし、ブレアは2晩にもわたって、ブッシュの聖域に招待された最初の外国のリーダーだった。

ブレア夫妻は、その娘や妻の母も一緒に、ゲストハウスに滞在した。ブッシュは、ブレアを超特別扱いして、毎日の CIA ブリーフィングに立ち合わせたり、彼をピックアップ・トラックに乗せて案内したりした。

クローフォードで何が話し合われたのか、アドバイザーたちが2人の重要な会談からは締め出されていたので、長い間、謎に包まれていた。

駐米英大使としてクローフォードに随行していた **Sir Christopher Meyer** は、**Chilcot** 尋問に対し、自分が除かれていたということは、「どの程度までの、いわば集約が、クローフォード牧場の血の盟約で実現したのか、今日にいたるまで全く知らない」ということだ、と説明した。

しかしブレアは、クローフォードにいたこの期間中の公的コメントで、英国は戦争への止められない道を進んでいることを否定しなかった。

「これはあらゆるオプションを考えるべき問題だ」と彼は言った、「我々はこの時点で、軍事行動を考えているのではない。」

2010年1月の **Chilcot** 尋問に出席したときには、ブレアは、サダムを倒すために、クローフォードでブッシュと密約を交わしたことを否定した。ブレアは、二人はイラクの独裁者に立ち向かう必要があることに合意はしたが、「特定のな問題」には入って行かなかったと主張した。

「この立場は隠すようなものではありません。それはオープンな立場だった。これは嘘とか、陰謀とか、詐欺とか、騙しではありません。それは決定です。私が言っていたことは、… “我々はあなたと一緒にあって、この脅威に立ち向かい、対処しなければならない” ということだった。」

ブレア氏が、アメリカのプードルとして行動したと非難する人々は、パウエル氏のメモの中の、ある事実を指摘するだろう——ブレア氏が、アフガニスタンに「1700のコマンド（特別奇襲部隊）を配備する、たとえ専門家が、英軍にそれは無理だと警告してもそうする、と進んで約束した」事実である。

（クリントン夫人が受け取っていた）このeメール束の中にあっただけの文書は、パウエルへの秘密のブリーフィングで、クローフォード会談の直前に、ロンドンの米大使館が用

意したものだった。

「4月2日」と日付のあるこのメモは、ブレアがアメリカの軍事行動を支援した場合、彼の国内での立場がどうなるかを詳しく予想したものである。

この文書はこう言っている——「かなり多くの彼（ブレア）の議員が、今のところイラクに対する軍事行動に反対ですが、…中には、もしイラクが大量破壊兵器/ミサイルを開発しているという最近の（そして公的に使える）証拠があるなら、イラクの封じ込め政策から移行した方がよいと言う者もあり…ほとんどは、軍事行動に対する何らかの国連の承認をほしがっているようです。

「ブレアの今直面する問題は、アメリカのイラク政策のタイミングと展開を判断して、彼の党と英国民を引き込むことです。

「より熱っぽい新聞には、イラク政策に関して労働党の騒乱が起ることを予想する、いくつかの記事があり…こうした論者は、ブレアの政党リーダーシップが問われる危険もあると言っています。」

この文書は、労働党の“スパイ”から与えられた情報に基づくものだが、それが誰であるかは隠されている。

「〇〇によると、この話を育てようとする者たちの意図は、ブレアを倒すことではなく、イラク問題で彼を動かすことです。」

「(軍事行動を支持する者は) もっと増えるでしょう、もし、イラクがそのような兵器を使う意図を持っているという確実な証拠を見せられたら。サダムが9・11攻撃とか、他の残酷なテロ行動に関係しているなら、明らかに大多数が軍事行動を支持するでしょう。

「ブレアは、政治的タイミングの素晴らしい判断力をもっていることが判明しました。彼は、イラクに対する行動の支持キャンペーンを盛り上げる潮時について、特に注意しなければならないでしょう。

「彼はアメリカの政策に、あまり先んじて遅れてもいけないでしょう。…もし彼が長く待ち過ぎると、我々が組んでやったという証拠のかなめ石が、きちんとはまらなくなります。これこそ間違いなく、ブレアが大統領に会うときに、抜かりなく調整しようと計算していることです。」

トニー・ブレアのあるスポークスマンは、「それは当時ブレアが公的に言っていたこととも、また Chilcot 尋問に提出されたブレアの証拠とも、一致しています」と言った。

クリントン夫人もパウエル氏も、コメントを求められたが答えなかった。

1. Powell starts his memo by outlining the intimate nature of the upcoming meeting between Blair and Bush at the President's Crawford ranch in Texas.

2. He says Blair will back him on Iraq and present 'public affairs lines' as Bush's global spin doctor.

3. Powell then says that Blair eagerly proved his loyalty to Bush by sending British troops to Afghanistan even though UK military chiefs warned it was a risk.

4. Again, he stresses Blair was already committed to Iraq War – even though he had not told MPs, the Cabinet or British voters.

5. Powell says only TWO of Blair's Cabinet Ministers backed the war, Defence Secretary Geoff Hoon and Foreign Secretary Jack Straw – at the time Blair claimed they all did. And he denied most Labour MPs and voters opposed him.

6. Smooth-talking Blair would persuade sceptics that flimsy claims that Saddam had WMDs were 'credible' and brush off claims that UN backing was needed. The UN is dismissed with contempt.

7. Blair would say the Allies would prevent bloody chaos in Iraq 'the day after' Saddam fell. They did no such thing, there was bloody chaos.

8. Loyal Blair would spare Bush's blushes by not making a public fuss about a US decision on import tariffs which had devastated Britain's steel industry.

9. 'Arrogant' Blair desperately needed Bush's endorsement because his domestic policies were failing in Britain.

10. Bush had to pretend Blair was his equal to enable him to convince sceptical British voters he was not America's poodle.

Secret: Memorandum to the President
From: Colin L. Powell, 28/03/2002
Subject: Your meeting with United Kingdom Prime Minister Tony Blair, April 5-7, 2002 at Crawford

● 'Tony Blair is looking forward to the time he and his family will spend with you at Crawford to deepen their personal relationship with you and Laura [Bush's wife]. Buckingham Palace's approval of the trip despite The Queen Mother's death attests to the importance the British government ascribes to Blair's meeting with you. Blair will want to discuss: Afghanistan; Iraq; the Middle East; Russia and Nato enlargement; and trade and development.'

● 'Blair continues to stand by you and the US as we move forward on the war on terrorism and on Iraq. He will present to you the strategic, tactical and public affairs lines that he believes will strengthen global support for our common cause.'

● 'Blair and the UK are in Afghanistan with us for the long haul. He readily committed to deploy 1,700 commandos, even though his experts warn that British forces are overstretched.'

● 'On Iraq, Blair will be with us should military operations be necessary.'

● 'Aside from his foreign and defence secretaries, however, Blair's Cabinet shows signs of division, and the Labour Party and the British public are unconvinced that military action is warranted now.'

● 'Blair may suggest ideas on how to make a credible public case on current Iraqi threats to international peace... [and] handle calls for a UNSC [Security Council] blessing.'

● '[Blair will] demonstrate that we have thought through "the day after".'

● 'We do not expect Blair to dwell on the steel decision.'

● 'Blair has hit some domestic turbulence. Blamed at home for failing to fix inadequate public services, his (unpublished) poll numbers have fallen to below 50 per cent. He is sharply criticised by the media for being too pro-US, too arrogant and 'presidential' (not a compliment in the British context) and too inattentive on issues of concern to voters.'

● 'Blair knows he may have to pay a political price for supporting us on Iraq, and wants to minimise it. Nonetheless, he will stick with us on the big issues. His voters will look for signs that Britain and America are truly equity partners in the special relationship.'

ブレアは、イギリスが外交取引の正直さで、長年かかって築き上げてきた国際的評判を、馬鹿にするように、ブッシュの悪だくみに対する世界の非難から、ブッシュをかばうための盾として利用して満足していたのだ。

このメモから判断すれば、ブレアは、米政府自身よりも前に、イラク戦争を積極的に支持していたのである。人は信用せざるを得ないだろう。

ブレアは帰国後、議員や有権者に、まだ外交的解決を求めていると言っていた。一方、コリン・パウエルは、ブッシュ大統領にこう言っていた——「心配するな、ジョージ、トニーは何があっても戦争をする気である。彼は君のために PR を受け持ってくれる。見返りに、彼を偉い人にしてやったらどうだ。」

決して忘れてならないことは、少なくとも 12 万人の人々が、イラク戦争の直接の結果とし

て亡くなったことである。

あまりにもショッキングなことは、この取引が行われた気軽さで、たとえばメモで「後日」と言われているのは、サダムが倒された後、という意味である。

この気軽な調子からこのゲームがわかってくる——確実に明らかなのは、ブッシュとブレアがクローフォードで会っているとき、「後日」について考えた者は誰もいなかったことだ。

そして彼らは、その「後日」が約一年後にやってきて、サダムの銅像が倒される瞬間まで、やはりそのことを考えてみもしなかった。

我々が見たのは、イラクの悲劇的な、いわゆる **de-Baathification**（バース党の公職からの追放）と、この国の民政・軍政構造の全面的崩壊、それに続く数年間の流血と混乱であった。それは今日まで周辺諸国に影響を与えており、その真空状態にイスラム国が入ってきた。

これは、我々みんなが目撃してきた、イラクの誰の目にもあきらかな証拠である。

ブレア/ブッシュ・ホワイトハウス文書の全容——下の写真は、国務長官コリン・パウエルがジョージ・W・ブッシュに手渡したメモである。

RELEASED IN PART
1.4(B),B1,1.4(D)

SECRET/NOFORN
DECL: 4/01/12

Classified by DAS, A/GIS, DoS ~ Class
Confidential- Reason: B1, 1.4 (D), 1.4
(B) Declassify on: 04-01-2022

MEMORANDUM FOR THE PRESIDENT

FROM: Colin L. Powell

REVIEW AUTHORITY: Theodore Sellin, Senior
Reviewer

SUBJECT: Your Meeting with United
Kingdom Prime Minister Tony Blair,
April 5-7, 2002 at Crawford

Tony Blair is looking forward to the time he and his family will spend with you at Crawford to deepen their personal relationship with you and Laura. Buckingham Palace's approval of the trip despite The Queen Mother's death attests to the importance the British government ascribes to Blair's meeting with you. Blair will want to discuss: Afghanistan; Iraq; the Middle East; Russia and NATO enlargement; and trade and development.

Blair continues to stand by you and the U.S. as we move forward on the war on terrorism and on Iraq. He will present to you the strategic, tactical and public affairs lines that he believes will strengthen global support for our common cause.

1.4(B)
1.4(D)
B1

Blair and the UK are in Afghanistan with us for the long haul. He readily committed to deploy 1700 commandos, even though his experts warn that British forces are overstretched. The UK welcomes the active political, military and financial aid the U.S. has provided to persuade Turkey to take on ISAF leadership.

1.4(B)
1.4(D)
B1

On Iraq, Blair will be with us should military operations be necessary. He is convinced on two points: the threat is real; and success against Saddam will yield more regional success. Aside from his foreign and defense secretaries, however, Blair's Cabinet shows signs of

SECRET/NOFORN

Classified by: Secretary of State Colin L. Powell
Reasons: E.O. 12958 1.5 (b) & (d)

division, and the Labour Party and the British public are unconvinced that military action is warranted now. Blair may suggest ideas on how to (1) make a credible public case on current Iraqi threats to international peace; (2) keep Iraq's neighbors on our side; (3) handle calls for a UNSC blessing that can increase support for us in the region and with UK and European audiences; and (4) demonstrate that we have thought through "the day after."

The UK will follow our lead in the Middle East, but Blair may seek greater U.S. engagement [redacted] [redacted] He will argue that continued terrorist violence and Israeli military action are rapidly sapping European and Arab support for a tough line against Baghdad.

1.4(B)
1.4(D)
B1

[redacted]

1.4(E)
1.4(C)
B1

We do not expect Blair to dwell on the steel decision, although it was a bitter blow for him, as he indicated in his recent letter to you. It is clear that Britain will not fight our fight within the EU on this. He may instead stress with you, as he did recently with the Vice President in London, the urgent need to insulate our broader relationship from this and other trade disputes. He may also raise a warning flag about the international trading system, urge the U.S. to continue its trade leadership role and encourage development assistance.

Blair has hit some domestic turbulence. Blamed at home for failing to fix inadequate public services, his (unpublished) poll numbers have fallen to below 50 percent. He is sharply criticized by the media for being too pro-U.S. in foreign and security policy, too arrogant and "presidential" (not a compliment in the British context) and too inattentive on issues of concern to voters.

Blair knows he may have to pay a political price for supporting us on Iraq, and wants to minimize it. Nonetheless, he will stick with us on the big issues. His voters will look for signs that Britain and America are truly equity partners in the special relationship.

CONFIDENTIAL PTO4679

RELEASED IN PART
1.4(B),B1,1.4(D)

PAGE 01 LONDON 02066 01 OF 03 021705Z
ACTION EUR-00

INFO LOG-00 NP-00 AID-00 AMAD-00 ACQ-00 CIAE-00 INL-00
USNW-00 DODE-00 DOEE-00 DOTE-00 SRPP-00 DS-00 EB-00
FAAE-00 FBIE-00 VC-00 H-01 TEDE-00 INR-00 IO-00
LAB-01 L-00 VCE-00 MOFM-05 MOF-01 AC-01 NEA-00
DCP-01 NSAE-00 NSCE-00 OMB-01 OPIC-01 PA-00 PC-01
PM-00 PRS-00 ACE-00 P-00 SCT-00 SP-00 SSO-00
TRSE-00 USIE-00 PMB-00 DSCC-00 PRM-00 DRL-02 G-00
SAS-00 SWCI-00 /015W

-----7DE3D9 021705Z /38

O 021709Z APR 02
FM AMEMBASSY LONDON
TO SECSTATE WASHDC IMMEDIATE 7579
INFO ALL EUROPEAN UNION POST COLLECTIVE PRIORITY

C O N F I D E N T I A L SECTION 01 OF 03 LONDON 002066

NOFORN

E.O. 12958: DECL: 03/20/2015
TAGS: PREL, MOPS, PGOV, UK
SUBJECT: IRAQ COALITION-BUILDING: UK LABOR PARTY NOT YET
CONVINCED

REVIEW AUTHORITY:
Theodore Sellin, Senior
Reviewer

CLASSIFIED BY: DCM GLYN DAVIES. REASON: 1.6X6

SUMMARY AND COMMENT
CONFIDENTIAL

PAGE 02 LONDON 02066 01 OF 03 021705Z

1. (C) FOR NEARLY A MONTH, PM TONY BLAIR HAS MADE PUBLICLY CLEAR HIS COMMITMENT TO A MORE PROACTIVE IRAQ POLICY. REFLECTING THE POLLED SENTIMENTS OF VOTERS, HOWEVER, A SIZABLE NUMBER OF HIS LABOR PARTY MPS REMAINS AT PRESENT OPPOSED TO MILITARY ACTION AGAINST IRAQ. A MAJORITY INDICATE THEY WOULD CHANGE THEIR MINDS IF THEY HAD PROOF OF IRAQI INVOLVEMENT IN SEPTEMBER 11 OR ANOTHER TERRORIST ATROCITY. SOME WOULD FAVOR SHIFTING FROM A POLICY OF CONTAINMENT OF IRAQ IF THEY HAD RECENT (AND PUBLICLY USABLE) PROOF THAT IRAQ IS DEVELOPING WMD/MISSILES OR THAT IRAQ'S WMD STATUS HAS CHANGED FOR THE WORSE. MOST SEEM TO WANT SOME SORT OF UN ENDORSEMENT FOR MILITARY ACTION. BLAIR'S CHALLENGE NOW IS TO JUDGE THE TIMING AND EVOLUTION OF AMERICA'S IRAQ POLICY, AND TO BRING HIS PARTY AND THE BRITISH PEOPLE ONBOARD, SO THAT THE UK -- THE KEYSTONE OF ANY COALITION WE SEEK TO BUILD -- CAN BE FIRMLY IN PLACE. END SUMMARY.

Classification Extended on : 09/27/2013 ~ Class: CONFIDENTIAL ~ Authority: DSCG 11-1
~ Declassify on: 04-02-2022

LABOR MPS BALK AS GOVERNMENT ARTICULATES IRAQ POLICY

2. (C) FOR A NOTICEABLE TIME AFTER THE PRESIDENT IDENTIFIED IRAQ'S DEVELOPMENT OF WMD AND MISSILES AS A SERIOUS THREAT IN THE STATE OF THE UNION ADDRESS, TONY BLAIR'S GOVERNMENT ESSENTIALLY KEPT QUIET ON WHETHER IT AGREED. THIS CHANGED AT THE END OF FEBRUARY AS BLAIR SPOKE OUT FORCEFULLY IN PREPARATION FOR, AND AT, THE COMMONWEALTH HEADS OF GOVERNMENT MEETING IN AUSTRALIA. THE FOLLOWING WEEK, ON MARCH 5, THE GOVERNMENT RELEASED TO THE PARLIAMENTARY LABOR PARTY (PLP) A
CONFIDENTIAL

PAGE 03 LONDON 02066 01 OF 03 021705Z
FOREIGN OFFICE-SPONSORED BRIEFING PAPER THAT OUTLINED THE CASE AGAINST IRAQ. A DAY LATER, "THE TIMES" CARRIED A FOREIGN SECRETARY JACK STRAW BYLINER HIGHLIGHTING THE IRAQI WMD THREAT; THE NEXT DAY, THE MASS-CIRCULATION TABLOID "DAILY MAIL" PRINTED A SIMILAR PIECE BY THE PRIME MINISTER. DEBATE ON THESE ISSUES IN THE HOUSE OF COMMONS THAT WEEK WAS SHARP, WITH FOREIGN OFFICE JUNIOR MINISTER BENJAMIN BRADSHAW BRANDING EXTREME-LEFT LABOR MP GEORGE GALLOWAY AS AN APOLOGIST AND PAID MOUTHPIECE FOR IRAQ, AND GALLOWAY RETORTING THAT BRADSHAW IS A LIAR.

3. (C) OPPOSITION TO MILITARY ACTION AGAINST SADDAM HUSSEIN GOES, UNFORTUNATELY, WELL BEYOND THE "USUAL SUSPECTS" SUCH AS GALLOWAY. WITHIN A DAY OF RECEIVING THE FOREIGN OFFICE BRIEFING PAPER, 117 MPS SIGNED AN 'EARLY DAY MOTION' (SIMILAR TO A SENSE OF THE CONGRESS RESOLUTION IN THAT IT SIMPLY EXPRESSES AN OPINION, BUT DIFFERENT IN THAT IT DOES NOT COME TO A VOTE) THAT OPPOSED SUPPORTING U.S. MILITARY ACTION AGAINST IRAQ. THE NUMBER OF SIGNATORIES HAS SINCE GROWN TO MORE THAN 130, OF WHICH WELL OVER 100 ARE LABOR PARTY MEMBERS (I.E., ABOUT ONE-QUARTER OF ALL LABOR MPS). ORDINARILY, EARLY DAY MOTIONS DO NOT MEAN MUCH; MANY MPS DON'T BOTHER WITH THEM. THE RELATIVELY LARGE RESPONSE IS THEREFORE SIGNIFICANT, AND WE HEAR THAT MANY MORE MPS DID NOT SIGN BUT DO AGREE WITH ITS THRUST.

4. (C) THESE MPS APPEAR TO BE REFLECTING OVERALL VOTER OPINION: 51 PERCENT (ACCORDING TO A GUARDIAN/ICM POLL RELEASED MARCH 19) ARE AGAINST UK POLITICAL SUPPORT FOR A U.S. MILITARY ACTION AGAINST IRAQ, WITH 35 PERCENT IN FAVOR. VIRTUALLY ALL MPS WE HAVE CONTACTED MAKE A POINT OF
CONFIDENTIAL

PAGE 04 LONDON 02066 01 OF 03 021705Z
CONTRASTING THE BROAD SUPPORT FOR ACTION IN AFGHANISTAN (74 PERCENT OF VOTERS IN FAVOR) WITH THE DEEP UNEASE THAT MPS FEEL ABOUT WAR WITH IRAQ. SEVERAL MPS SAY THAT POST-9/11 SYMPATHY FOR THE U.S. IS "EBBING AWAY," AS PERCEPTIONS GROW OF ALLEGED U.S. UNILATERALISM, PROTECTIONISM, AND ONE-SIDED SUPPORT FOR ISRAEL. LABOR MPS WHO CONSIDER THEMSELVES TO BE MODERATE AND STRONGLY PRO-U.S. TELL US THEY NEED MORE EVIDENCE OF IRAQ'S CONNIVANCE WITH TERRORISM AND/OR

WILLINGNESS TO USE WMD BEFORE THEY COULD SUPPORT HMG COOPERATION WITH MILITARY ACTION. (NOTE: IN THE SAME POLL, THIRD-PARTY LIBERAL DEMOCRAT VOTER OPINION IS 67 PERCENT AGAINST BACKING U.S. MILITARY ACTION; A SIZABLE NUMBER OF LIBDEM MPS HAVE ALSO SIGNED UP TO THE EARLY DAY MOTION. THOUGH CONSERVATIVE VOTER OPINION IN THE POLL IS MARGINALLY OPPOSED TO SUPPORTING THE U.S. ON IRAQ, NO TORY MP HAS SIGNED THE MOTION.)

CONCERNS

5. (C) THERE IS SIGNIFICANT UNEASE IN THE HOUSE OF LORDS AS WELL.

[REDACTED]
[REDACTED] ALSO TOLD US THAT

1.4(B)
1.4(D)
B1

CONFIDENTIAL

CONFIDENTIAL PTQ2009

PAGE 01 LONDON 02066 02 OF 03 021705Z
ACTION EUR-00

INFO LOG-00 NP-00 AID-00 AMAD-00 ACQ-00 CIAE-00 INL-00
USNW-00 DODE-00 DOEE-00 DOTE-00 SRPP-00 DS-00 EB-00
FAAE-00 FBIE-00 VC-00 H-01 TEDE-00 INR-00 IO-00
LAB-01 L-00 VCE-00 MOFM-05 MOF-01 AC-01 NEA-00
DCP-01 NSAE-00 NSCE-00 OMB-01 OPIC-01 PA-00 PC-01
PM-00 PRS-00 ACE-00 P-00 SCT-00 SP-00 SSO-00
TRSE-00 USIE-00 PMB-00 DSCC-00 PRM-00 DRL-02 G-00
SAS-00 SWCI-00 /015W

-----7DE3EA 021705Z /38

O 021709Z APR 02
FM AMEMBASSY LONDON
TO SECSTATE WASHDC IMMEDIATE 7580
INFO ALL EUROPEAN UNION POST COLLECTIVE PRIORITY

C O N F I D E N T I A L SECTION 02 OF 03 LONDON 002066

NOFORN

E.O. 12958: DECL: 03/20/2015
TAGS: PREL, MOPS, PGOV, UK
SUBJECT: IRAQ COALITION-BUILDING: UK LABOR PARTY NOT YET CONVINCED

LABOR PEERS WANT EVIDENCE THAT IRAQ PROMOTES TERROR ATTACKS, OR THAT ITS WMD POSE A CLEAR AND PRESENT THREAT. HE SAID PROOF THAT IRAQ HAS DEVELOPED SUCH WEAPONS IS PROBABLY NOT ENOUGH, IN ITSELF, TO SWING A MAJORITY IN LORDS BEHIND THE
CONFIDENTIAL

PAGE 02 LONDON 02066 02 OF 03 021705Z

MILITARY OPTION.

6. (C) LABOR MPS ESPECIALLY RAISE CONCERNS ABOUT THE REACTION OF THE ARAB WORLD, CLAIMING THAT ACTION AGAINST SADDAM WOULD UNDERCUT VITAL ARAB COOPERATION IN THE WAR ON TERRORISM. THEY ARE NOT CONVINCED THAT THE IRAQI OPPOSITION FORMS A CREDIBLE ALTERNATIVE OR THAT MILITARY ACTION WOULD BE QUICK AND EFFECTIVE. SEVERAL MPS TOLD US THAT PROGRESS IN THE MIDDLE EAST PEACE PROCESS COULD DEFUSE SOME OF THEIR CONCERNS. ANOTHER ELEMENT RAISED WAS THAT THERE WOULD BE LESS NEGATIVE FALLOUT IF MILITARY ACTION WERE TAKEN ONLY AFTER ALL OTHER OPTIONS WERE SEEN TO HAVE BEEN EXHAUSTED. VIRTUALLY ALL MPS WITH WHOM WE SPOKE WANT THE UNSC TO ENDORSE ANY MILITARY ACTION. THEY SUPPORT ADDITIONAL PRESSURE TO COMPEL IRAQ TO ADHERE TO EXISTING OBLIGATIONS, BUT DO NOT BELIEVE EXISTING UNSCRS OFFER A SUFFICIENT LEGAL BASIS FOR ATTACK.

7. (C) OTHER ELEMENTS OF PARLIAMENTARY CONCERN WE HAVE PICKED UP RELATE TO THE PERCEIVED UNILATERALISM OF U.S. FOREIGN POLICY. FOLLOWING RELATIVELY QUICK SUCCESS IN AFGHANISTAN, MPS WORRY THAT THE U.S. IS "LOOKING FOR ANOTHER FIGHT" AND WILL "IGNORE EVEN ITS CLOSE FRIENDS" IF THEY OBJECT. THEY ACKNOWLEDGE THAT MANY HAVE NOT RETHOUGHT BASIC UK AND INTERNATIONAL SECURITY SITUATIONS SINCE SEPTEMBER 11, AND THEY ALSO ACCEPT THAT U.S. ACTIONS SINCE 9/11 HAVE BEEN MEASURED AND TAKEN IN CONSULTATION WITH ALLIES. NONETHELESS, THERE IS THE IMPRESSION THAT U.S. FOREIGN POLICY IS INCREASINGLY DRIVEN BY TOO-NARROW SECURITY INTERESTS, AND THAT THE U.S. IS NOT ACKNOWLEDGING THE RELEVANCE OF THE UK TO THE U.S. AGENDA.

CONFIDENTIAL

PAGE 03 LONDON 02066 02 OF 03 021705Z

CONSTRAINTS ON BLAIR

8. (C) MANY LABOR (AND LIBDEM) MPS HAVE INSISTED THAT THE PRIME MINISTER CONSULT PARLIAMENT (AND SOME HAVE DEMANDED A VOTE) BEFORE OFFERING SUPPORT TO THE U.S. ON IRAQ. BLAIR IS NOT COMPELLED TO DO SO; NEITHER MARGARET THATCHER NOR JOHN MAJOR ASKED PARLIAMENT TO VOTE BEFORE TAKING MILITARY ACTION IN THE FALKLANDS AND IN OPERATION DESERT STORM. STILL, BLAIR WOULD PAY A POLITICAL PRICE FOR IGNORING BACKBENCHERS COMPLETELY OR FAILING TO CONSULT HIS CABINET. IT IS OFTEN RECALLED THAT, IN THE 1990'S WHEN LABOR WAS IN OPPOSITION, LEFT-LEANING CLARE SHORT, WHO IS NOW SECRETARY OF STATE FOR INTERNATIONAL DEVELOPMENT, QUIT THE SHADOW CABINET TWICE OVER THE ISSUES OF INTERVENTION IN IRAQ AND SOMALIA. PRESSED ABOUT THIS IN A MARCH 15 INTERVIEW, SHE SAID, "THERE ARE CONDITIONS IN WHICH I WOULD NOT BE ABLE TO SUPPORT ACTION, BUT I DO NOT EXPECT THEM TO BE PROPOSED." SHE WAS MORE EXPLICIT TWO DAYS LATER WHEN SHE DECLARED OPPOSITION TO "A BLIND MILITARY ATTACK ON IRAQ." ALSO IN THE CABINET, HOME

SECRETARY DAVID BLUNKETT HAS REPORTEDLY WARNED FELLOW MINISTERS PRIVATELY THAT BRITISH PARTICIPATION IN AN ATTACK ON IRAQ COULD LEAD TO A SERIOUS RISE IN RACIAL TENSION IN BRITAIN OR EVEN RIOTING.

9. (C) THERE HAVE BEEN A FEW SPECULATIVE PIECES IN THE MORE FEVERISH PRESS ABOUT LABOR UNEASE RE IRAQ POLICY (AND UNHAPPINESS WITH AN "ARROGANT" TONY BLAIR WHOSE GOVERNMENT HAS NOT YET DELIVERED ON SOCIAL POLICY), WHICH HAVE GONE ON
CONFIDENTIAL

PAGE 04 LONDON 02066 02 OF 03 021705Z
TO IDENTIFY THE BEGINNINGS OF A CHALLENGE TO BLAIR'S LEADERSHIP OF THE LABOR PARTY. MOST POLITICAL COMMENTATORS AND MPS SCOFF AT SUCH RUMORS. FORMER CABINET MEMBER PETER MANDELSON, STILL AN INSIDER, CALLED IT ALL "FROTH."
NONETHELESS, THIS IS THE FIRST TIME SINCE THE 1997 ELECTION THAT SUCH A STORY IS EVEN BEING PRINTED.

TOLD US THE INTENTION OF THOSE FEEDING THE STORY IS NOT TO BRING DOWN BLAIR BUT TO INFLUENCE HIM ON THE IRAQ ISSUE.

1.4(B)
1.4(D)
B1

10. (C) UNDER PARTY RULES, REBEL MPS CAN ONLY TRIGGER A VOTE OF NO-CONFIDENCE AT A PARTY CONFERENCE WITH THE SUPPORT OF UNION LEADERS AND THE BACKING OF THE CONSTITUENCY PARTY ORGANIZATIONS. IN OTHER WORDS, A LABOR PARTY LEADER CANNOT BE CHANGED JUST BY THE PARTY CAUCUS IN THE HOUSE OF COMMONS, NOR CAN A CHANGE HAPPEN OVERNIGHT. IN FACT, THERE IS NO SIGN OF A REAL EFFORT TO UNSEAT BLAIR. MOREOVER, BLAIR AND HIS TEAM ARE WORKING TO MANAGE DISSIDENTING MP VIEWS. HE IS CONFIDENT THAT HE OCCUPIES THE POLITICAL CENTER AND SEEMS NOT OVERLY CONCERNED WITH BACKBENCH SNIPING -- THOUGH HE CANNOT HELP BUT NOTICE THAT HIS PERSONAL-POPULARITY NUMBERS HAVE APPRECIABLY SLIPPED.

WHAT BLAIR NEEDS TO MAKE HIS CASE

CONFIDENTIAL

CONFIDENTIAL PTQ2010

PAGE 01 LONDON 02066 03 OF 03 021705Z
ACTION EUR-00

INFO LOG-00 NP-00 AID-00 AMAD-00 ACQ-00 CIAE-00 INL-00
USNW-00 DODE-00 DOEE-00 DOTE-00 SRPP-00 DS-00 EB-00
FAAE-00 FBIE-00 VC-00 H-01 TEDE-00 INR-00 IO-00
LAB-01 L-00 VCE-00 MOFM-05 MOF-01 AC-01 NEA-00
DCP-01 NSAE-00 NSCE-00 OMB-01 OPIC-01 PA-00 PC-01
PM-00 PRS-00 ACE-00 P-00 SCT-00 SP-00 SSO-00
TRSE-00 USIE-00 PMB-00 DSCC-00 PRM-00 DRL-02 G-00
SAS-00 SWCI-00 /015W

-----7DE3F2 021706Z /38
O 021709Z APR 02

FM AMEMBASSY LONDON
TO SECSTATE WASHDC IMMEDIATE 7581
INFO ALL EUROPEAN UNION POST COLLECTIVE PRIORITY

C O N F I D E N T I A L SECTION 03 OF 03 LONDON 002066

NOFORN

E.O. 12958: DECL: 03/20/2015
TAGS: PREL, MOPS, PGOV, UK
SUBJECT: IRAQ COALITION-BUILDING: UK LABOR PARTY NOT YET
CONVINCED

11. (C) WHAT WOULD IT TAKE TO CONVINC LABOR
PARLIAMENTARIANS TO SUPPORT MILITARY ACTION AGAINST IRAQ?
REVULSION WITH THE IRAQI REGIME IS ALREADY WIDESPREAD, BUT
CONFIDENTIAL

PAGE 02 LONDON 02066 03 OF 03 021705Z
THAT DOES NOT NECESSARILY TRANSLATE INTO SUPPORT FOR WAR.
SOME MPS WOULD ENDORSE ACTION IF THEY HAD PROOF THAT IRAQ HAS
CONTINUED TO DEVELOP WMD SINCE UN INSPECTORS LEFT. MORE
WOULD FOLLOW IF CONVINCED THAT IRAQ HAS SUCCEEDED IN
DEVELOPING SIGNIFICANT WMD CAPABILITY (NOT JUST CW, BUT BW
AND/OR NUCLEAR/RADIOLOGICAL) AND THE MISSILES TO DELIVER IT.
MANY MORE WOULD FOLLOW IF THEY SEE COMPELLING EVIDENCE THAT
IRAQ INTENDS AND PLANS TO USE SUCH WEAPONS. A CLEAR MAJORITY
WOULD SUPPORT MILITARY ACTION AGAINST IRAQ IF SADDAM IS
IMPLICATED IN THE 9/11 ATTACKS OR OTHER EGREGIOUS ACTS OF
TERRORISM. OTHER FACTORS OF INFLUENCE INCLUDE SUCH VARIABLES
AS: ARAB SENTIMENT, PROGRESS IN THE MEPP, UN SUPPORT,
CIVILIAN CASUALTIES, AND HAVING A PLAN THAT WORKS.

12. (C) SINCE MAKING HIS DECISION TO MOVE TO A MORE ROBUST
PUBLIC DIPLOMACY ON IRAQ, BLAIR PLUS STRAW AND DEFENSE
SECRETARY HOON HAVE MADE A STRING OF TOUGH STATEMENTS. BLAIR
WAS ESPECIALLY FORTHRIGHT WHEN STANDING ALONGSIDE VP CHENEY
ON MARCH 11.

[REDACTED]

MOREOVER, BLAIR, STRAW, AND BRADSHAW HAVE LATELY SHOWN SOME
INTEREST IN THE IRAQI OPPOSITION. NORMALLY RECEIVED BY
LOW-RANKING FCO OFFICIALS, BOTH THE INC AND THE "GROUP OF 4"
OPPOSITION GROUPS WERE RECEIVED BY BRADSHAW WITHIN DAYS OF
EACH OTHER EARLIER THIS MONTH, AND BLAIR HAS REPORTEDLY ASKED
FCO FOR A RECOMMENDATION ON WHETHER HE SHOULD MEET WITH
OPPOSITION LEADERS.

13. (C) BLAIR HAS PROVED AN EXCELLENT JUDGE OF POLITICAL
TIMING, AND HE WILL NEED TO BE ESPECIALLY CAREFUL ABOUT WHEN
CONFIDENTIAL

PAGE 03 LONDON 02066 03 OF 03 021705Z
TO LAUNCH A RAMPED-UP CAMPAIGN TO BUILD SUPPORT FOR ACTION
AGAINST IRAQ. HE WILL WANT NEITHER TO BE TOO FAR IN FRONT,
OR BEHIND, U.S. POLICY. AS ONE FCO OFFICIAL POINTED OUT TO

1.4(B)
1.4(D)
B1

US, IF BLAIR UNLEASHES A FULL-SCALE CAMPAIGN IN PARLIAMENT AND WITH THE GENERAL PUBLIC WHEN PARLIAMENT RETURNS FROM THE EASTER RECESS, AND U.S. POLICY TURNS OUT TO BE ON A LONGER-TERM TRAJECTORY, WHEN THE TIME COMES FOR ACTION, THE PM MAY FIND THAT HIS PREPARATIONS HAVE COME UNGLUED. ON THE OTHER HAND, IF HE WAITS TOO LONG, THEN THE KEYSTONE OF ANY COALITION WE WISH TO BUILD MAY NOT BE FIRMLY IN PLACE. NO DOUBT THESE ARE THE CALCULATIONS THAT BLAIR HOPES TO FIRM UP WHEN HE MEETS THE PRESIDENT AT CRAWFORD APRIL 5-7.
FARISH

CONFIDENTIAL

<< END OF DOCUMENT >>